

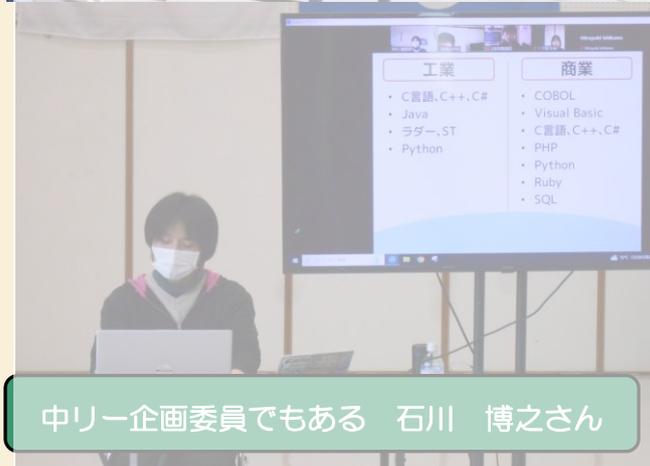


中リーの先輩方から、多くの事を学びました！！

3月5日(日)に、光市教育委員会を本部とし、オンライン会議システムZoomを使って、中リーミーティングを実施しました。講座には、中学生リーダー養成講座受講生(中学1年生)1名、光ジュニアクラブ会員(中学2年生～高校3年生)3名の参加がありました。中リーの先輩方から、現在の生活、夢や目標についての話を聞く事ができたので、大変参考になりました。



司会は、原田 侑希さんが務めました！



中リー企画委員でもある 石川 博之さん



最初に、今回の司会も務めた原田 侑希さん(下松工・2年)が発表しました。

下松工業高校では、中学校で学習している教科の続きの内容に加えて、溶接や旋盤の実習があり、CAD(コンピューターを用いて設計をすること)も学んでいる事など、分かりやすく説明しました。自身が中学校2年生の時に、進路先の選択で悩んだ経験があり、そのときに分かった事は、

- ①自分は何がしたいのか
- ②自分は何が知りたくて、何に興味があるのか
- ③自分は何が得意で、どう生かしたいのか

の3点を考える事で、今の高校が選択できたことなどを語ってくれました。

次に、県内の大学に通う、和久 智哉さん(中リーOB)が発表されました。

まず、最初に授業を選択する幅が広い事や、授業が90分になる事など、高等学校と大学の違いについて説明をされました。小学校の教員になるために、授業やサークル活動において、秋に小学生とのキャンプを企画・運営したり、授業において魚釣りゲームを作成して遊んだりするなど、大学での学びを詳しく説明して下さいました。また、教育分野を学ぶ他の2つの大学に通う仲間とも連携して、研修会やレクリエーションに取り組んでいる事など、積極的にいろいろな場所で活動していることも説明をされました。最後に、中リーで活動している後輩に対して、“1歩踏み出して チャレンジしよう！”というメッセージをいただきました。

最後は、光市でコワーキングスペース（事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを提供している場所）の経営や、ホームページの管理などを行う会社の代表取締役を務めている石川 博之さん（中リーOB）が発表されました。

石川さんがいつも心がけておられるのは、“頼まれごとは 試されごと” だそうです。中リーで運営に参画した事がきっかけとなり、「光市成人のつどい（現 はたちの集い）企画運営委員会」から推薦を受けて取り組んでいる実行委員長の役割や、依頼者からの困難なウェブ関連の業務などをやり遂げるために、様々な研修会に参加して学び、仲間を増やしながらか切磋琢磨してスキルを高めている事や、本業以外の技術も高める事で、あらゆるニーズに対応している事も話をしていただきました。自分の思いを他者に伝えるための技術や、組織で目標に向けて取り組む事などは、中リーの活動で基礎は学べた事を語っていただきました。

以下は、参加した中リーの感想です。

○まずは、高校に入学するために頑張ろうと思いました。大学の勉強は、想像していた以上に大変だなど思いました。

○先輩方に聞いた内容を大切に、人生の糧にしたいです。

○私は高校生ですが、和久先輩の話を聞いて、大学がより身近に感じる事ができました。C言語（コンピューターのプログラミングで使う言語）についても、興味をもちました。

○私は、プログラマーになることが夢です。そのために、どんな進路を歩めば良いかを教えていただいたので、参加して良かったです。

「光市青少年健全育成推進大会」の役割を無事に果たせました！！



2月18日（土）に、学校や家庭、地域が連携して青少年の健全育成をめざすための様々な取組を推進するために光市民ホールにおいて実施された大会に、中学生リーダー養成講座受講生（中学1年生）1名、光ジュニアクラブ会員（中学2年生～高校3年生）4名が参加しました。

高校生リーダー2名が司会を務め、中リー3名が賞状の介添えを行いました。

以下は、参加した中リーの感想です。

○司会は、2回目だったので、落ち着いて取り組むことができました。家でも練習をしました。

○賞状を正しい順番で準備することが仕事でしたが、光市のために頑張った良かったです。緊張したのもあって、腕が筋肉痛になっています。

これからも、様々な団体からの要請があれば、積極的に中リーで引き受けて、光市に貢献していこうと思います。



原田 侑希さんと小田 陽満里さんが、落ち着いて司会を務めてくれました。